



2022年8月号

山形県最上総合支庁 隔月発行
最新情報はツイッターでご覧ください



知事と若者の地域創生ミーティング開催！！

7月7日、金山町農村環境改善センターにおいて知事と金山町在住の若者8名が、町長の進行で地域の課題や地域元気創出策等を車座になって対話を行う「知事と若者の地域創生ミーティング in 金山町」が開催されました。

町の自然や人間関係の素晴らしさ、空き家の有効活用、高速道路延伸に伴う効果や課題、農業の活性化策等について話し合いが行われました。

[総務課 29-1360]



最上地域初の4年制大学 東北農林専門職大学(仮称)校舎工事の安全を祈願

令和6年4月の開学を目指す「東北農林専門職大学(仮称)」の校舎新築工事安全祈願祭が7月22日、新庄市角沢の建設予定地で行われ、関係者が工事の無事故・無災害を祈願しました。

吉村知事のあいさつでは、「地域に開かれた大学となるよう、地域住民も利用できる図書館やロビー、食堂を整備する。」との紹介や、「地域に愛される大学にしたい。」との意気込みが語られました。校舎は来年12月に完成予定です。

また、7月8日、県、最上管内の市町村、農林業団体の関係者が集まり、大学と連携した地域振興策などについて話し合いを行いました。

大学設置を最上地域の新たな飛躍につなげられるよう、地域の皆様の協力もいただきながら、関係機関が一丸となって取り組んでまいります。

[農業振興課 29-1319]



[吉村知事による鎌入れ]



校舎外観イメージ図

一般県道曲川新庄線（居口橋工区）完成記念式典

6月26日に県が事業を進めてきた一般県道曲川新庄線（居口橋工区）の完成記念式典が、吉村知事の出席のもと開催されました。今回完成した道路は、これまでの2倍以上の幅を確保しており、対向車とも安心してすれ違えることができるほか、老朽化していた居口橋の架替えにより重量制限も解消され、大きなトラックも通行できるようになりました。当日は、晴天の下テープカットを行い、地域の方々とともに出席者全員で新しい道路の開通を祝いました。(鮭川村大字曲川)

[道路計画課 29-1401]



起点側から望む



テープカット状況



終点側から望む

最上地域における事業の進捗状況や課題を審議

8月1日、最上総合支庁において、第1回最上地域議員協議会が開催され、最上地域選出の4名の県議会議員の出席のもと、地域における事業の進捗状況や課題について審議が行われました。

審議に先立ち、泉最上総合支庁長から、最上地域における新型コロナウイルス感染症の状況、経済の業況、農作物の生育概況、東北農林専門職大学（仮称）の開学に向けた取組み、県立新庄病院建設の進捗状況及び在宅医療・介護連携拠点整備に向けた取組み等について説明がなされました。

その後、各委員から、新型コロナウイルス感染症拡大時における最上保健所の体制、地域高規格道路「新庄酒田道路」の工事状況、水稻や転作作物の作付状況等について質疑がなされ、各分野にわたって活発な意見交換が行われました。

[総務課 29-1211]



新庄・最上ジモト大学 2022 開校

新庄・最上ジモト大学の2022年度プログラムが7月16日からスタートしました。

ジモト大学は、地域の大人と高校生が地域のことを本気で語り、学び、交流する場として、地元企業や自治体等がプログラムを提供しています。6年目となる今年度は、これまでで最も多い42プログラムを実施予定です。SDGsについて学べるプログラムやふるさと納税の返礼品を考えるプログラムなど、今年度も多くの高校生が地域に出て、地域の大人と一緒に地元のヒト・モノ・コトについて学びます。たくさんの高校生の参加をお待ちしています。

[連携支援室 29-1239]



ジモト大学
Web サイト



最上地域みんなで子育て応援団 オンライン *MOCO マルシェ

7月8日、最上総合支庁講堂を配信元として、「～最上地域みんなで子育て応援団～オンライン moco マルシェ」を開催しました。

昨年に引き続き Zoom での開催でしたが、保育園の園児を始め約340名の方々にご参加いただきました。

第1部の押切真代先生による「英語であそぼう」は、画面の向こうにいる子どもたちが笑顔で一緒に遊んでいるのが見え、とても楽しい時間となりました。

第2部の保育園の先生方による手遊びと、大型絵本「はらぺこあおむし」の読み聞かせは、子どもたちが真剣に画面を見ているのが分かり、とても嬉しくなりました。

様々な場所からみんなで楽しい時間を共有でき、オンラインならではの素敵なイベントとなりました♪

10月に開催する親子向けスポーツイベントもお楽しみに！

[子ども家庭支援課 29-1245]



放課後子ども総合プラン指導者研修会を開催

6月22日、「第1回最上地区放課後子ども総合プラン指導者研修会」をオンラインで開催し、各施設や会場から放課後児童クラブ・放課後子ども教室の支援員など51名が参加しました。

宮城教育大学教授の植木田潤先生を講師にお迎えし、「気になる子への対応と保護者支援」をテーマに、発達障がいのある子どもやその保護者への支援について学びました。参加者からは、「事例をもとに解説していただきわかりやすかった」、「児童と保護者一人一人に寄り添った支援が大事だと実感した」、などの感想が寄せられ、支援について見直すことのできた有意義な研修会となりました。今後とも放課後子ども総合プランの推進に取り組んでまいります。 [子ども家庭支援課 29-1221]



ふるさとの宝を知る ～イバラトミヨ塾～

明倫学園の4年生が、新庄市に生息している絶滅危惧種の「イバラトミヨ」について学びました。

この塾は、希少な生き物が住んでいるふるさとの環境の重要性を知ってもらおうと、平成20年度（北辰小学校）から開催しているものです。

春に勉強会を行った子ども達は、7月12日・14日・15日には校外学習で指首野川周辺を見学し、生き物調査も実施しました。全ての班でイバラトミヨを見つけることができ、驚きながらも身近に感じたようでした。

学習のなかでは案内人から、「きれいな水に生息するイバラトミヨが、昔は沢山いたのに絶滅危惧種になってしまったのは何故か」を考える宿題が出されました。秋の塾でどんな答えが発表されるのか楽しみです。

今後も、ふるさとの素晴らしい環境を守っていけるよう、関係団体と協力しながら活動し、子ども達がふるさとのことを考えるきっかけを作っていきます。 [農村計画課 29-1342]



進路を考える学習会 ～めざせ医療・介護のしごと～ 開催！

@八向中学校！！



最上地域の医療・介護分野の人材確保を図るため、管内の小学校高学年や中学生を対象に、将来の職業として医療・介護の仕事に関心を持っていただけるよう「進路を考える学習会～めざせ医療・介護のしごと～」を開催しています。

今年度は第1回目として、7月13日に八向中学校2年生を対象に、医師、助産師（看護師）を講師にお迎えして開催しました。講師からは、仕事の内容とともにこの仕事を選んだ理由や魅力などについて講演していただいた後、各ブースに分かれて体験学習を行いました。生徒たちは、術着の着脱体験や、ちくわを用いた縫合体験、病衣の着替え体験、バイタルサイン測定体験等に興味深く取り組み、医療・介護への関心が深まったようです。

[保健企画課 29-1257]



もがみさくらんぼ品評会・表彰式

6月24日、ヤマザワ新庄店を会場に「第9回もがみさくらんぼ品評会」が開催されました。今回出品された佐藤錦18点は、いずれも着色、粒の大きさが良好で、糖度の高い、素晴らしいものばかりでした。その中から入賞7点が選ばれ、最優秀賞には阿部豊春さん（金山町）が輝きました（入賞者は下記のとおり）。品評会後の即売会では、高品質なさくらんぼを求めて多くの方が来場し、すぐに完売となりました。

7月26日には最上総合支庁において、品評会で入賞された生産者の方を招いて表彰式が行われ、受賞者代表の阿部さんは、「さくらんぼは天候に左右されやすく管理も大変だが、これからも品質の高いさくらんぼを生産していきたい。」と話されました。

おめでとうございます

- | | |
|----------------------|---------------|
| ■最優秀賞 | 阿部 豊春さん（金山町） |
| ■優秀賞 | 笠原 勝義さん（最上町） |
| | 加藤 大地さん（新庄市） |
| ■優良賞 | 大内 和也さん（新庄市） |
| | 井上 孝夫さん（新庄市） |
| | 高橋 啓一さん（真室川町） |
| ■特別賞（最高糖度賞 糖度 23.8度） | |
| | 笠原 勝義さん（最上町） |



[農業振興課 29-1316]

第3回最上小国川鮎釣り甲子園大会、3年ぶりに開催！

7月30日に最上小国川おらだの川公園（最上町）付近で第3回最上小国川鮎釣り甲子園大会を開催しました。最上地域だけでなく宮城県からも参加し、高校生25名が快晴の中、鮎の友釣りに熱中し、3時間の熱戦を繰り広げました。

「鮎釣りを通して最上の自然の豊かさに改めて気づくことができた」、「鮎釣りの難しさと地域の人との関わり方を学ぶことができた」といった声をいただきました。鮎釣り体験を通して、ふるさと最上への愛着を一層深めてもらうことができたと思います。

[連携支援室 29-1240]

【大会結果】

- ◆第1位 新庄北高等学校（1年）菊池涼雅さん
新庄北高等学校（1年）荒井壮旭さん
- ◆第2位 新庄北高等学校（1年）佐藤翔吾さん
新庄北高等学校（1年）安達惺さん
- ◆第3位 新庄北高等学校（3年）庄司光太郎さん



地域づくりのプロからノウハウを伝授！！

高齢化等により集落の維持がむずかしい地域が増え、こうした集落を支える地域の体制も、人材不足等の問題が出てきています。

そこで、現場で地域づくりを進める皆さんを対象に、地域自らが動き出したくなるような環境づくりや、それを進めていくために必要な視点と支援の方法について学ぶ、「地域づくり人材育成研修」を7月19、20日新庄土地改良区で開催しました。

県職員や市町村職員、地域おこし協力隊など17名が参加し、地域づくりの基礎を学ぶだけでなく、ワークショップの話し合いを実際に体験しました。

参加者からは、「ワークショップ開催前の準備がここまで必要なのかと驚いた」「地域づくりは『話を聞く』ことから始まるのだと思った」「自分の集落や、職場の地域間連携に活かせると思った」「受け身となる研修が多い中で、実際にワークショップを体験できたのは大きな財産になった」などの声があり、大変好評でした。

[農村計画課 29-1342]



野菜の若手生産者の研修会を開催！〔農業技術普及課 29-1331〕

最上地域の主要な野菜であるにら、アスパラガス、トマトでは、近年若手生産者が増加傾向であることから、それぞれの品目の若手生産者の研究会を作り、研修会等を開催して栽培技術や経営能力の向上に取り組んでいます。若手トマト研究会では6月24日に(有)クリタ園芸等の視察を行い、コストを意識した経営管理等について学びました。若手アスパラガス研究会は7月8日、若手にら研究会は7月25日に、それぞれ省力技術を導入している最上町の現地圃場を視察するとともに、近年問題となっている雹害対策について意見交換を行いました。県ではこれからも研修会の開催等により、野菜の若手生産者の支援を行ってまいります。



第1回 MOGAMI ルーキーズカレッジ

6月15日、最上広域交流センターゆめりあを会場に、今年度1回目のMOGAMIルーキーズカレッジを開催しました。若手社員が楽しみながら学び、成長していけるネットワークづくりを目的とした研修で、最上地域で働く39名の若手社員の皆様に参加いただきました。当日は、講師の山本一輝氏(Idea partners 代表)から、コミュニケーション方法を学ぶとともに、先輩社会人からの体験談やインタビューゲーム等を通して不安や悩みの共有を図りました。また、これまでの自分を振り返り、将来なりたい自分をイメージしていくキャリアデザインも行いました。先輩からは、現在の仕事



や仕事を覚える工夫、1年目と比べて成長したこと、リフレッシュの仕方、失敗したときの対応などの話がありました。研修中は各グループで笑顔が見られ、感想では「楽しかった。」「悩みや不安を相談できてよかった。」「新採職員と話す機会がほとんどなかったので色々な悩みを共有できてスッキリした。」との声をたくさんいただき、大変有意義な会になりました。普段関われない他業種が集まる機会でも様々な話ができそうです。

〔地域産業経済課 29-1309〕

大雨に備え重要水防箇所の合同巡視

6月14日と17日に国・県の河川管理担当者と消防、警察、市町村及び消防団などの関係機関による重要水防箇所の合同巡視が行われました。重要水防箇所とは、洪水時に危険が予想され重点的に巡視点検が必要な箇所のことで、洪水時に水防団の方々が土のうを積むなどの水防活動を行います。

これからの、台風等の出水に備え、地域一丸となって防災・減災対策に取り組んでまいります。

〔河川砂防課 29-1407〕



職員による“おもてなしの緑地づくり”

6月29日に東北中央自動車道新庄IC北側(新庄市松本地内)の県道脇緑地帯において、建設部職員有志25名による草刈り作業とゴミ拾いを行いました。

最上地域の高速交通網の玄関口であるこの緑地帯をきれいにし、道路利用者をお迎えしようと、毎年この時期に実施しています。

これからも地域の美化に貢献できるよう努めてまいります。

〔建設総務課 29-1391〕



お知らせ

「2022 Summer 最上传承野菜・うまいものフェア」開催中!

夏に旬を迎える最上传承野菜や最上地域の農畜産物を使った料理や加工品を味わって、スタンプラリーに参加してみませんか? 抽選で素敵な景品が当たります! この機会に、最上地域のうまいものを是非ご堪能ください。

- 期間: 8月1日(月)から8月31日(水)まで
- 参加店舗: 最上传承野菜 HP をご覧ください (<http://mogami-denshouyasai.com/>)
- 応募方法:
 - 【スタンプラリー】①参加店舗でお会計500円(税込)ごとにスタンプを押印。②スタンプを4つ集めて応募可能。③景品から1つ選んで、事務局へ郵送もしくは店頭に応募箱へ投函。
 - 【Instagram】①フェア参加店を利用。②「最上传承野菜」Instagram (@denshouyasai.mogami) をフォロー。③参加店舗の商品メニュー写真に「#2022 最上传承野菜・うまいものフェア」・「#利用店舗名」の2つの「#(ハッシュタグ)」をつけて投稿。



最上传承野菜 HP



最上传承野菜 Instagram

(背景は最上传承野菜「勘次郎胡瓜」)

[農業振興課 29-1317]

最上・庄内 おくのほそ道スタンプラリー開催中!

今年は松尾芭蕉が山形県を訪れてから333周年にあたります。芭蕉ゆかりの地域を巡って楽しみながらスタンプを集めると、抽選で宿泊助成券やお食事券など豪華景品が当たるスタンプラリーを実施中です。

当時に思いをはせながら、その周辺の観光立寄り施設で、美味しいものを食べたり、温泉につかったり、最上・庄内地域の良さを再発見してみたいはいかがでしょうか。

期間: 7月30日(土)~12月31日(土)
 <応募〆切: 令和5年1月11日(水) 当日消印有効>

対象施設のスタンプを6個または9個を集めて応募すると
 抽選で54名の方に宿泊助成券等が当たります!



[観光振興室 29-1312]

😊 最上地域みんなで子育て応援団 😊 新庄まつり子育て支援事業 😊

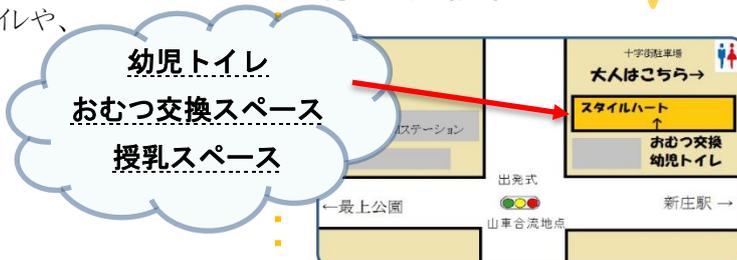
子育て支援団体等で構成する最上地域みんなで子育て応援団では、親子のふれあいや親同士の交流、地域における子育てのネットワークの輪を拓げるための各種事業を実施しており、8月24日~26日に開催される新庄まつりにおいては、右記の日程で、「乳児用トイレや、授乳・おむつ交換のスペース」を提供いたします。

是非こちらのスペースを活用していただき、新庄まつりを親子共々楽しんでいただけたら幸いです♪

場所: 子育て支援センターmoco's
 (山形県新庄市本町1-7、南本町十字路近く、スタイルハート内)

[子ども家庭支援課 29-1245]

8月24日(水) 17:00~18:30
8月25日(木) 10:00~17:00
8月26日(金) 10:00~17:00



【注】新庄まつりの開催内容に変更がある場合、本事業も変更することがあります。

第2弾！「おいしい適塩ランチ」

3年目を迎える適塩ランチですが、今回初めて麺類(うどん)を提供します！

通常のうどんには一食(180g)



当たり 0.5g の食塩が含まれていますが、今回使用するうどんは食塩 0g となっております。彩り野菜をふんだんに使った、食塩控えめでもおいしいランチをぜひお試しください。

場所：最上総合支庁食堂「千起」

日時：8月19日(金)11時30分～

価格：600円(100食限定です！)

[地域健康福祉課 29-1267]



新庄・もがみフラワーフェスティバル 2022

最上地域の美しい花の魅力が感じられるフラワーフェスティバルを開催します。

花き品評会や飾花オブジェの展示のほか、品評会に出品された花や寄せ植えの販売も行います✿

是非、お越しください！



日時：9月3日(土)13:00～16:00

9月4日(日)10:00～15:00

場所：最上広域交流センター「ゆめりあ」

花と緑の交流広場 (JR 新庄駅併設)



[農業振興課 29-1317]

「東北のへそ」三県交流まつり in 秋保

「東北のへそ」地域である、山形県最上地域、宮城県大崎地域、秋田県雄勝地域の特産品が大集合！各地域の郷土芸能の披露やご当地キャラの出演もあります！ぜひお立ち寄りください！

日時：令和4年9月3日(土)、4日(日)
午前10時～午後3時

場所：秋保ビレッジ アグリエの森
(宮城県仙台市太白区茂庭中谷地南32-1)



[観光振興室 29-1312]

棚田スタンプラリー 開催中！

今年で4回目を迎える「やまがたの棚田スタンプラリー」が7月16日から開催中です。

スマートフォンを活用した非接触型のデジタルスタンプラリーで、県内18地区の棚田を巡り、とっておきの棚田を発見できる、楽しく美味しい企画となっております。みなさん是非ご参加ください！

◆7月16日(土)～10月31日(月)

◆スタンプを集めると、棚田米や地域特産品などが抽選で当たります！



やまがたの棚田

詳しくはこちら！→



[農村計画課 29-1342]

最上地域「やまがた縁結びたい」人材育成セミナー 地方から考える最近の婚活事情と 独身者への寄り添い方・支え方のコツ

日時：8月30日(火)13時～15時

場所：ゆめりあ会議室

講師：(一社)

日本結婚支援協会

代表理事 田口 智之 氏



「なぜ結婚しない時代になったのか?」「最近の婚活事情」「独身者を支える留意点」など、結婚を支援するボランティア仲人養成セミナーを開催。

結婚を望む男女の背中を押すことで、かけがえないパートナーとの「縁」を結ぶサポーターに、あなたもなりませんか?

申し込み：電話 0233-29-1245

[子ども家庭支援課 29-1245]

お肉はよく焼いて食べましょう！

夏はバーベキューの季節です。食中毒予防のために次の4つのポイントに注意しましょう。

- 1 食肉は中心部まで十分に加熱する。
(中心温度75℃で1分以上加熱する。中心部の肉の色が変わるのが目安)
- 2 生肉をつかんだ箸で、焼けた肉はつかまない。
- 3 生肉を扱った調理器具はよく洗浄、消毒する。
- 4 生肉を触った手で他の食材を触らない。生肉を触ったあとはしっかり石鹸で手を洗う。



[保健企画課生活衛生室 29-1260]

9月は「健康増進普及月間」です
 1に運動 2に食事 しっかり禁煙 最後にクスリ
 ～健康寿命の延伸～

生活習慣病の予防には、定期的な運動・バランスの良い食事・喫煙や受動喫煙の防止など、日々の積み重ねが大切になってきます。この機会に自分の生活習慣を見直し、「プラス10分体を動かす」「お昼に野菜サラダを毎日食べる」「減塩商品を使って料理する」など、まずは自分ができそうなことから取組んでみませんか。

歳を重ねても、元気に好きなことやりたいにや～。
 今からがんばるべ!



[地域健康福祉課 29-1267]

★若いあなたの命を守りたい!★
 健康教室とお試し検診・検査を受けよう

20代、30代の方のための検診です

大腸がん検診+下記の検診・検査が無料で受診可能です。この機会にぜひお試しください。
 ※予約数に限りがあります。予約と検査の詳細は最上検診センターへご確認ください→



胃リスク検査
 ※希望者
 血液で2種類検査します。
 ●ヘリコバクターピロリ菌
 ●ペプシノゲン検査

乳房超音波検査
 ※女性希望者
 超音波装置で、乳がんなどの有無を調べます。

肺がん検診
 ※希望者
 胸のレントゲン撮影でがんの有無を調べます。

大腸がん検診 ※必須
 便に血が混ざっていないかを調べます。



[地域健康福祉課 29-1267]

～新型コロナウイルス感染症～

コロナ感染防止と熱中症予防



マスクの着用について

熱中症のリスクや表情が見えにくいことによる小児の発達への懸念等から、次の場合は**マスク着用が不要**です。

- ①屋外では、近くで会話をしなければ**マスクは不要**
- ②就学前の子どもは、**マスク着用を一律には求めません**



マスク着用は基本的な感染防止対策として、従来同様重要であり、飛沫の拡散防止に効果がある一方で、夏場の高温・多湿な環境では、熱中症のリスクが高くなります。

屋外では、2m未満の間隔で会話をする時以外はマスクは不要です。また、屋内でも2m以上の間隔を空けて、会話がない時のマスクは不要です。

状況に応じて適切にマスクの着用を行い、熱中症を防ぎましょう。

学校におけるマスクの着用について

学校でのマスクの着用は、基本的な感染予防対策として重要で、マスクが不要の時も、常にマスクを持ち歩きましょう。



屋内 マスクを着用しましょう。
 ただし、屋内でも2m以上の間隔を空けて、会話がない時のマスクは不要です。

屋外 マスクは不要です。
 ただし、屋外でも2m未満の間隔で会話をする時は、マスクをつけましょう。

学校生活でマスクが不要な時の例

登下校	運動・遊び	読書	給食・昼食
会話をしない時はマスク不要です。会話をする時はマスクをつけましょう。	運動する時や人との間隔が2m以上空いている活動ではマスク不要です。応援や話し合う場面ではマスクをつけましょう。		食事の基本は「黙食」のため、マスクは不要です。会話をする時はマスクをつけましょう。

3密を避ける、換気の励行、こまめな手洗いなど、基本的な感染防止対策を徹底しましょう。

周囲の状況	自分一人のとき	人との距離			
		2m以上		2m未満	
		ほとんど会話なし	会話・発声あり	ほとんど会話なし	会話・発声あり
屋内	不要 例)一人で部屋ですごす	不要 例)距離をあけた作業	着用が望ましい 例)会議・座談会	着用が望ましい 例)室内での打合せ	着用が望ましい 例)電車・バスの中
屋外	不要 例)一人で散歩	不要 例)距離をあけてランニング・サイクリング・釣り	不要 例)密にならない遊び	不要 例)徒歩通勤・人とのすれ違い	着用が望ましい 例)観光地の入道み・スポーツ観戦

※十分な換気等の感染対策を講じている場合はマスクをはずすことも可
 *高齢の方と会う時や病院に行く時はマスクを着用しましょう。
 *マスク着用が必要になることもありますので、マスクは常に持ち歩きましょう。状況に応じた着用をお願いします。
 ~3密を避ける、換気の励行、こまめな手洗い、消毒など、基本的な感染防止対策の徹底をお願いします。~
 山形県 ▲▲▲

発行日：令和4年8月18日
 発行元：山形県最上総合支庁総務企画部総務課
 総合案内窓口
 電話：0233-29-1360 FAX：0233-23-2605



Twitter



HP



[保健企画課 29-1268]